

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2018年	8月	19日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷	水間

調査対象先	旧木村家住宅＝旧所在：吉野郡十津川村旭				
所在地	大和郡山市矢田町545、県立民俗博物館・大和民俗公園	電話番号	0743-53-3171		
代表者 調査対応者	県立民俗博物館総務課の森川龍太郎係長				
対象文化財	彫刻	県指定：	件	国宝：	件
	建造物	県指定：	1件 2棟	国宝：	件 棟

**地震対策**

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	特にない。 <small>その他(大和民俗公園の古民家は文化的・建築的価値を伝えるために移築復原したもので、形状を変える耐震補強はあえて行っていない。)</small>	
	要望	特にない。	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定は主屋(平屋建て)、納屋(平屋建て)の2棟で、いずれも木造杉皮葺き。要所に火災感知機を取り付け、消火器を配置している。屋外に火災報知機、放水銃も設置。	
	今後の予定	県立民俗博物館・大和民俗公園として郡山市消防と2年ごとに総合防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
	要望	主屋は山深い溪谷の地で1821年(納屋は19世紀中頃)に建築。現在地での復原は1982年。杉皮の更新は約20年ごとに行う必要があり、民俗公園内の傷みがひどいところから順次交換する予定。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他( )	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

旧木村家住宅＝旧所在：吉野郡十津川村旭

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	公園エリアにアライグマが棲み着いていた古民家もある。旧木村家では目立った被害はない。民俗公園内の古民家が一齐に屋根の葺替時期が到来しており、旧木村家の杉皮葺きも荒れている。
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマの駆除では大和郡山市とも連携していきたい。スズメバチ対策は巣の駆除を地道にやっていきたい。

県指定・旧木村家住宅の特徴(雨よけ)ある主屋

県指定の納屋(左側は主屋)



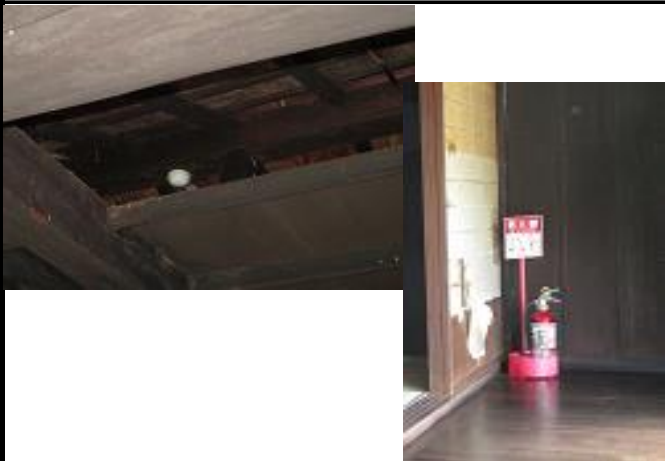
主屋(杉皮葺)と納屋(杉皮葺に補強丸太と石)の屋根

主屋近くに設けられた消火栓と火災報知機



主屋の火災感知器(小屋裏内)と消火器

【調査票記入者(仲谷裕巳)の感想】



民俗公園内の古民家が一齐に屋根の葺替時期が到来しているとの事で、旧木村家の杉皮葺きも荒れてきている。要所に火災感知器があり、消火器も設置。屋外には火災報知機、放水銃も設置されている。今後も県施設として万全の維持管理を続けてもらいたい。